



女も男も 自分らしく 輝け! なんぶ!

No. 38

これからの社会……

「男女共同参画」は「地域活性化」のための必要条件!

今回も地域活性化のため、長年力を合わせて活動されているお二人を紹介します!



内田和行さん(75才)桂子さん(71才)

・内田さんご夫妻は万沢朝日区越渡在住で、お二人で猟友会の活動を20年以上続けている。

・活動内容

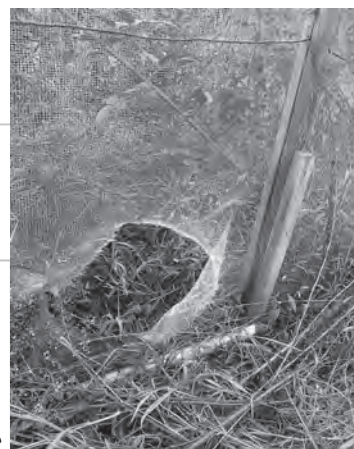
【3月16日～11月14日】

特定鳥獣適正管理事業（農作物等を有害鳥獣から守るため、猟友会員に特定鳥獣を捕獲してもらった場合に町から奨励金を支払う事業）に参画。

【11月15日～翌年3月15日（猟期）】

船山大物倶楽部に所属し、イノシシを追う。

・家事分担は、夫→自分の部屋の掃除と自分の物の洗濯。
妻→その他家事全般。



農作物への獣害が後を絶たない（破られたネット）

内田さんご夫妻の声

活動の動機

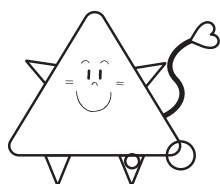
猟友会の活動を始めたのは、増えてきたイノシシ・シカ・サルの害から、自分たちの畑や竹林を守ろうと思ったのがきっかけです。

活動を通して感じる事

現在、町の猟友会会員の高齢化が進み引退する方も増えてきています。今後会員数の不足が心配なため、後継者の育成が必要だと感じています。銃や罠の購入や免許取得に対する助成によってハードルを下げることで、なり手が増えてくれたら嬉しく思います。また、特別天然記念物のニホンカモシカの頭数が年々増えていることを危惧しています。保護対象の動物ですが、何らかの対応が必要だと強く感じています。

心がけていること・思い

獣の出没は予想が付きません。いつでも依頼があれば出動できるよう心構えをしています。これからも夫婦ともに健康に気を付け、依頼者の希望に添えられるような活動を二人で長く続けていきたいと思っています。



さんかくーん

1年中、気が休まることのない内田夫妻。
わたしたち町民の生活を守るため、害獣と戦って
くださっているんですね。

～南部町男女共同参画審議会～



南部町男女共同参画審議会事務局

お問合せ：☎66-3401

E-mail: soumu@town.nanbu.yamanashi.jp